

ERDE Zeitung



最近の相談室から

2022.5. No.42(復刊1号)

エルデは今年で26年目を迎えます。これまで約3500名の方々に靴や足底板をご提供してきました。健康のために足に合った靴を、という方から痛みや変形で市販の靴が履けない方まで、様々な対応をさせていただいています。

最近お作りしたお客様をご紹介します。

M・Iさん / 25年前、13歳の時から、「内反足」という障がいでお作りしてきました。数年前に進行性の難病と判り、足の変形も強くなったため、膝から足首までを固定する装具を作られましたが、装具が当たって痛くて歩けないと来室。装具用の軟らかな靴が原因と考え、ご希望のデザインを生かして、固く幅の広い装具をつけて履けるように工夫し、左右の深さや高さ、底の形なども調整した靴をお作りしました。装具による痛みが軽減し、長く歩けるようになったと喜んでいただき、2足目は、少しおしゃれなエナメルのベルト付きのデザインに。装具用に病院で提供された靴は、着脱は楽でも体を支える機能がないことが、不具合の原因だったようです。「靴でこんなにも違うのですね」とのご家族のお言葉が印象的でした。

〈お知らせ〉

臨時休業日

5月30日(月)・6月12日(日)

定休日：水・木

営業時間：9:00～17:00

